

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

(愛媛県立小松高等学校)

学校番号 ( 11 )

評価実施日

令和6年2月15日(木)

委員	氏名	所属等		備考
	越智 敏雄	学校評議員	西条市社会福祉協議会小松支所長	
	眞鍋 明	学校評議員	株式会社マルブン会長	
	関野恵里子	学校評議員	国際ソロプチミストいしづち会長	
	原田 直行	学校評議員	小松公民館長	
	曾我部研二	学校評議員	氷見交友会館長	
	宇野 嘉則	西条市立小松中学校長		
	川又 勇人	西条市立小松小学校長		
	吉寛 勇治	PTA会長		
	香川 唯信	PTA副会長		
	戸田潤二郎	PTA副会長		
	首藤友理枝	PTA副会長		
	松下由佳子	PTA副会長		

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

## 1 今年度の最終評価について

### (1) 学習指導

授業に真面目に取り組んでいるが9割に達しているが、授業内容が理解できていないが5割となっているので、学習習慣の確立と学習意欲の向上がカギである。何のために学び何のために進学するのかという問いかけを重視し、目的意識をしっかり持たせることで、知識を得たり、法則等を理解することの楽しさを伝えて欲しい。資格取得の奨励については、生徒数減少に伴い、目標値を変更して評価すればよい。

教員の更なる授業改善や授業力向上を図るとともに、生徒一人一人に、学ぶことの意義や進学することの意味を考えさせ、生徒がより目的意識を持ち学ぶ意欲を高める取組を行いたい。  
図書館利用の推進を進めると共に、公民館利用も含めて、学習環境の整備に努め、生徒の自主学習の定着を図れるようにしたい。  
資格取得の目標値については見直しを行いたい。

### (2) 生徒指導

生徒理解のために、生徒との面談の機会を短い時間でも良いので、今後も増やして欲しい。教員も生徒も非常に意識が高く素晴らしい。学校が落ち着いていることが分かる。地域で生徒を見かけるが、明るく穏やかな印象を持つ。また、今年度は特に校内外問わず挨拶が良くできており、社会に出てからの武器にもなるので継続して欲しい。  
今後も、令和の指導を考えながら、生徒と向き合い成長させていきたい。

多様な生徒に対して全教職員が生徒理解に努め、生徒指導を協力して行えるよう今後も粘り強く取り組みたい。挨拶やルール、マナーについては、ほとんどの生徒は良好である。身だしなみのルールについて見直しが必要な部分は、教職員と生徒がベクトルを合わせて整えていきたい。また、登下校の徒歩通学生、自転車通学生、保護者送迎生には、今後も、交通マナー向上、交通安全意識の高揚に務めていきたい。

### (3) 進路指導

キャリア教育の推進、校内進路ガイダンスが充実している。目標が持ちにくい中、生徒に様々な手立てを講じて、一人一人の進路実現に向けて努力されていることが分かった。引き続き充実させて欲しい。  
「進路のしおり」の内容や活用方法についての検討、保護者に進路関係の情報をマチコミアプリ等を活用して取捨選択できるような情報提供が必要である。セミナー・模試等の計画については、教職員の否定的な意見があり改善が必要である。

進路ガイダンスやホームルーム活動と「進路のしおり」を連携させて活用していきたい。進路ガイダンスについては、次年度から保護者にも案内をしたい。また、土曜課外の在り方を中心に、生徒の実態に合ったセミナー・模試の実施方法について改善を図りたい。  
校舎の長寿命化計画に向けて、生徒がより活用しやすいよう進路室の環境整備に努めたい。

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(4) 特別活動  学校行事は、生徒の主体性を生かし、自主的に活動できる内容になっており、素晴らしい評価となっている。運動部、文化部共に十分な成果が出て、部活動が充実している。また、地域に根差した開かれた取組が多く実践されていることが素晴らしい。中学生の目標にもなる。ボランティア活動や、段ボールコンポスト、商品開発に取り組む等、生徒が主体的に活躍することを応援したい。</p> <p>(5) 人権・同和教育  人権・同和教育の学習を通して、差別に気付き、差別を許さない姿勢を身に付けている割合が97%と高い。交友会の学習発表での生徒の意見作文朗読は、人権・同和教育推進に大きな刺激となるものだった。</p> <p>2 学校運営への提言  学校評価アンケートの設問が教職員・生徒・保護者での視点での問いかけを同一にしないと、それぞれの見解の相違の比較検討ができない。アンケートの回収率が示されていない。アンケート集計処理について合計が100%になっていないのが散在する。</p> <p>学校長のリーダーシップの下、教職員が力を合わせ、様々な指導を行い、充実していると感ずることができるアンケート結果になっている。</p>	<p>1年生の全員部活動加入については、成果を上げているが、3年間継続していけるよう指導していきたい。部活動の施設面も充実しているが、安全面での配慮が必要な場合は、改善できるようにしていきたい。</p> <p>生徒の様々なボランティア活動等や地域での活動できる機会が多い。生徒がより参加をしやすい環境を作り、地域の期待に応えられるよう推進していきたい。</p> <p>今後も人権・同和教育に関する資料や映像等を随時案内していくとともに、いじめの未然防止やヤングケアラー等の早期発見・支援につなげていきたい。また、人権・同和教育問題を自分のこととして捉え、考えさせることのできる指導についても研究していきたい。</p> <p>今年度、本校をより良くするために、学校評価アンケートの内容の見直しとアンケート結果の見やすさに視点を置き改善を図ったが、まだ、改善の余地があるので、来年度に向けより良いものにしていきたい。</p> <p>今後、更に、小松高校を良くするためにも、教職員相互のコミュニケーションを高めるとともに、教職員が小松高校での働きがい、満足感が得られるようにしていかなければならない。</p>